

I 第2回実行委員会の振り返り

日時：平成29年5月10日（水） 14:00～15:30

場所：松山市役所8階 第1会議室

1. 第1回実行委員会の振り返り

○事務局説明内容

- ・ 公民一体型空間形成の取組み（昨年度の取組みのまとめ）
- ・ 銀天街商店街周辺地区の特性と滞留空間形成の視点
- ・ 社会実験の企画

○意見 特になし



2. ワークショップの検討状況について

○事務局説明内容

- ・ 第1回、第2回ワークショップの開催概要、議論内容等

○主な意見

- ・ 今回のワークショップでは、デザイン・PRチーム、イベント・コンテンツチーム、滞留空間チームなどテーマを区分して議論をしたことが良かったと感じている。
- ・ 今回は良さそうな感覚がある。どうにかしたい、した方が良いという想いが出てきたことが重要。特にシャッターを活用した告知について、通行者は二度見しているし、子どもの反応も良い。銀天街に新しい風景をつくったと感じる。
- ・ イベント・コンテンツに関しては、面白そうだが実行体制などの懸念もある。参加者の意欲も高いので、地元の協力を得ながら実現に期待したい。

3. 滞留空間づくりの実証実験 検討状況

○事務局説明内容

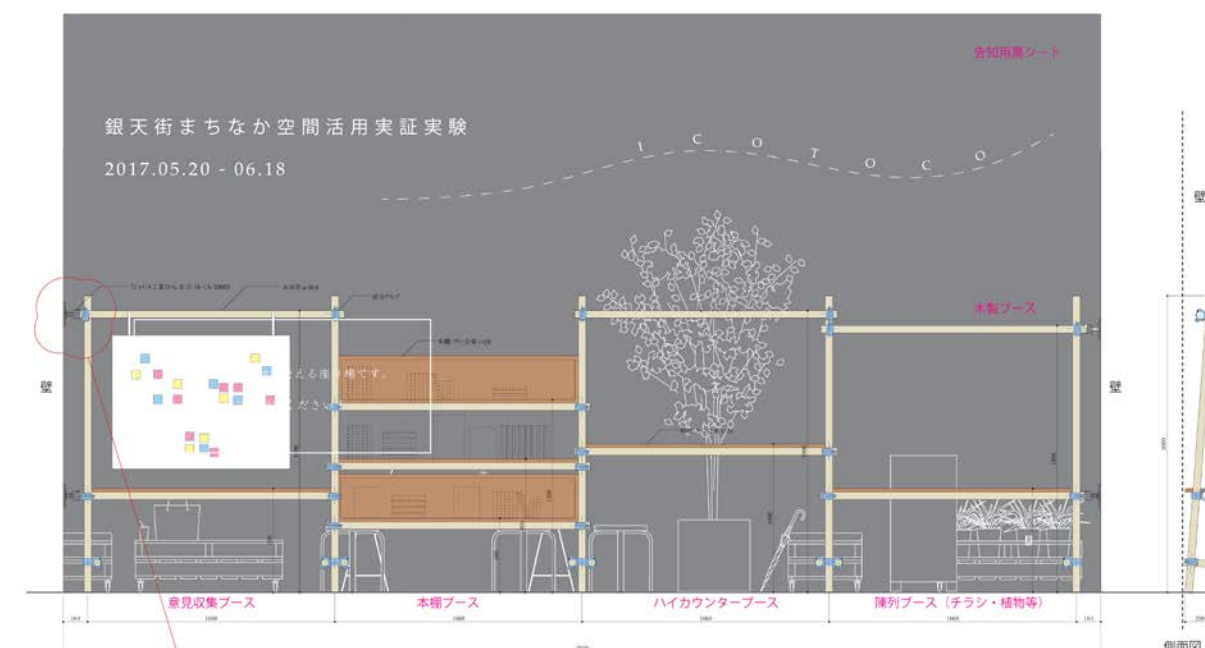
- (1) 滞留空間のコンセプト
- (2) レイアウト・ツール類
- (3) シャッター活用イメージ
- (4) 広報



○主な意見

◇滞留空間について

- ・ シャッター前を活用した意見収集ブースで、市民の声がまちの空間に見えるのは面白い。自分が参加している実感も持てるので良い。
- ・ 商店街の床の活用（シールの貼りこみ）も考えられるのでは。維持管理の負担軽減の意味でも、設置場所が分かるという機能性とデザイン性を併せ持った活用・デザインもできる。
- ・ 今の利用者の居心地を高めることに加え、新しい空間の創出により新しい利用者の利用も期待できる。



◇広報について

- ・ 商店街で協力できるのは、看板の設置やビジョンの利用、正面の大きな横断幕バナーの設置などがある。掲出するものがあれば、設置場所の提供に協力したい。

◇参画・連携について

- ・ まちづくりの視点からは、市の事業であるが、多様な主体が空間を活用したり、参加、利用する機会と考えるいただき、市民の方だけでなく、企業や団体など色々な方の参画の動きも期待したい。
- ・ テレビのお天気放送やラジオの公開放送の場としても考えられる。
- ・ 大学の授業でまちづくりについて講義を行った。学生の興味も強いと感じたので、まちづくりの現場であるまちなかで授業を実施するのは良いアイデア。